









第18回 身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日　2021年12月4日
編　集　全国水環境マップ実行委員会事務局
発　行　全国水環境マップ実行委員会
発行所　全国水環境マップ実行委員会事務局

問合せ先　全国水環境マップ実行委員会
事務局　みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX：042-327-3169
E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL：http://www.japan-mizumap.org

発行部数　5,000部

本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

後援　国土交通省　環境省

印刷　エキノックス

第18回 2021

身近な水環境の全国一斉調査

笑顔でつなぐゆたかな水辺

第18回 調査結果概要 2021

目　次

Ⅰ　調査の背景　P.1
Ⅱ　調査の実施手法　P.2
Ⅲ　調査結果の概要　P.3
　全国一斉調査諸データの推移　P.4
　2021　全国水環境マップ　第18回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.5
　2004　全国水環境マップ　第１回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.6
Ⅳ　各ブロックでの調査結果　P.7
　北海道地方　P. 7　近畿地方　P.12
　東北地方　P. 8　中国地方　P.13
　関東地方　P. 9　四国地方　P.14
　北陸地方　P.10　九州・沖縄地方　P.15
　中部地方　P.11
Ⅴ　一斉調査結果の活用事例紹介　P.16
Ⅵ　継続調査参加団体　P.19
Ⅶ　全国水環境マップ実行委員会名簿　P.20
Ⅷ　身近な水環境を調べよう！第19回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い　P.21
第19回 身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙　P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年６月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は（株）共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会









Ⅰ 調査の背景



近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は 1980 年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。

多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと 10 年間のまとめが一冊の本になりました。】



調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になりました。身近な水環境の全国一斉調査 10 年の歩みがわかる「見る　知る　調べる水」（（有）全国環境研究会誌事務局　発行：2015 年）は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価 1,500 円（税込）送料別で販売中です。

「身近な水環境の全国一斉調査」は 2004 年 6 月に開始され、18 年間で延べ 122,341 人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ 99,759 地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待されます。

目的と意義 ～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1．身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2．統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3．身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおよそ 1 年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4．河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5．同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6．身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7．水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8．汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9．調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10．子どもたちが調査に参加することにより、100 年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

Ⅱ 調査の実施手法

調査の概要

調　　査　　日：2021 年 6 月 6 日（日）を中心に実施
調　　査　　者：『全国水環境マップ実行委員会（委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授）』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストで COD を測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と 3 種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストで COD を測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●ＣＯＤ（化学的酸素要求量）

COD（Chemical Oxygen Demand の略称）は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的な COD の値は、きれいな水で 1 － 2mgO/L 程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号（製造番号）のパックテストを用いて、同一試料を 3 回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

●採水

①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●ＣＯＤの測定

①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
②添付の操作手順書に従い測定します。
③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
④同じ試水で 3 回測定します。







Ⅲ 調査結果の概要

調べてわかる　身近な水辺

昨年度の最終調査結果と今年の全国一斉調査

昨年度は新型コロナウイルスという未知のウイルスに対し人々の行動規制があり、市民活動もこれまでのように行えず、本調査も検討した結果、皆さんの安全を最優先に調査のお申込みをいただいた皆さんが安全に実施できる日程で行っていただくよう告知し、結果として昨年度の本紙パンフレットに掲載した調査結果は 3,802 地点分でした。その後も調査の結果をお送りいただき、最終的に 5,924 地点分の調査結果が届きました。こちらのデータについてはホームページで公開していますので是非ご覧ください。

また、今年はコロナ禍の中、市民による環境保全活動も少しずつ変化し、人数やウイルス対策 (マスク着用やこまめな消毒、屋内では換気) に配慮しての実施により、調査実施される団体が増えました。

全国統一日

調　査　日　2021 年 6 月 6 日（日）
参加団体数　293 団体 (個人参加含む)
調査地点数　1,569 地点

調査総数（全国）

期　　間　2021 年 4 月 29 日～ 8 月 9 日まで
参加団体数　**646 団体**
地点総数　**5,433 地点**
※今年も新型コロナウイルス感染予防対策のため、調査期間を延長して集計いたしました。

調査総数（海外）　なし

調査のまとめ

コロナ禍ではありますが、感染対策をしつつ調査が実施され、本紙締め切りの集計で、47 都道府県で約 5,400 地点の調査が行えました。実施日の傾向については、昨年、調査の期間中 6 月、7 月に広がって実施していましたが今年は 6 月中の実施が全体の 8 割でしたのでコロナ禍以前とあまり差がありませんでした。

全国の水質調査の結果は、0 ～ 3mg/L 未満の地点が 48%、3 ～ 6mg/L 未満の地点が 36%、6mg/L 以上の地点が 16% という結果になり、今年も水質の良好な地点が多い結果が得られました。参加者からのコメントでは水質以外に生き物、水辺のごみについて多く見られました。今後の本調査の展開の貴重な資料となると思います。

【ご寄付のお願い】

本調査は現在、河川財団の河川基金の助成金のみで運営しています。

調査器材をメーカーの共立理化学研究所のご厚意で無償提供していただいているものの、年々値上げする郵送費やデータ集計のための人件費などの工面が大変になっています。

実行委員会でも様々な提案をして対応していますが未だ成果にはつながっていません。

本調査にご支援をいただける方は下記の振込口座にお願いいたします。

ご寄付いただく皆さまへ

郵便局備付けの用紙で振込みをしていただく場合、お手数ですが「寄付」又は「一斉調査寄付」とご記入ください。

なお、寄付金は、全国調査のデータ集計や郵送費等、本調査の運営に活用させていただきます。

郵便振替口座
口座名称　全国水環境マップ実行委員会
口座記号番号　00150-0-514970

ご寄付をいただいた方々（団体または個人のお名前）

原田　武司　様、　瀬嵩区・区環境部会　様、　さとしょうエコクラブ　様、長瀬　博文　様、坂井　京子　様、パナソニック岡山地区　様、ﾜﾀﾅﾍﾞﾀｸ 様 ﾖｼｴ　様、加藤　功　様、大泉・水と緑を守る会　様、熊田　千春　様、清水 1 東町会　様、小林　秀　様、金子　博　様、香美市婦人会　様、浅川流域市民フォーラム　様、青地　絢美　様、野洲川に親しむ会　様、たがわ水辺を守る会　様、田中　尚志　様、馬場　照直　様、中野・生活者ネットワーク　様、パナソニック松愛会西中国支部　様、羽村・水と緑の会　様、夏井川流域の会　様、せせらぎねばねっと　様、溝谷　啓子　様、村岡　麻衣子　様、モリユウゾウ　様、ホタルの学校　様、鏡川下流の貝を育てる会　様、加治川ネット 21　様、エコシティ志木　様、大津市河川愛護団体連合　様、神田川ネットワーク　様

全国一斉調査諸データの推移

●年別　参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

都道府県名		2004 年		2005 年		2006 年		2007 年		2008 年		2009 年		2010 年		2011 年		2012 年		2013 年		2014 年		2015 年		2016 年		2017 年		2018 年		2019 年		2020 年		2021 年	
		団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1	北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131	25	131	36	435	28	486	26	214	20	389	22	221
2	青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19	5	17	5	19	7	69	7	60	5	74	5	28
3	岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12	2	6	3	13	6	48	3	53	6	70	7	43
4	宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25	6	29	6	30	8	65	5	73	6	72	4	28
5	秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7	2	5	5	30	6	42	5	34	4	29	3	20
6	山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52	2	52	2	52	4	114	5	55	4	83	5	117
7	福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78	8	48	10	69	10	176	9	105	8	114	7	152
8	茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305	40	286	37	285	36	321	35	269	30	225	34	237
9	栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10	6	11	7	13	8	49	9	43	5	33	5	33
10	群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76	9	81	10	114	9	123	9	158	9	150	8	110
11	埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486	64	399	63	441	65	461	68	522	56	407	64	420
12	千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111	16	221	19	186	17	209	15	137	15	269	15	117
13	東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681	100	608	106	634	89	627	88	568	77	508	75	556
14	神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374	37	385	39	470	33	423	34	419	31	413	33	394
15	新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318	25	269	23	210	24	222	20	172	18	212	20	262
16	富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12	6	15	7	38	9	42	7	16	6	32	6	24
17	石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7	6	12	2	9	4	23	4	34	4	57	7	38
18	福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46	3	43	7	48	7	64	5	47	6	74	6	52
19	山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208	39	196	34	225	33	191	32	150	28	110	30	152
20	長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380	22	303	29	364	30	366	24	247	25	250	23	183
21	岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101	16	42	18	45	19	76	14	24	8	58	3	27
22	静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34	12	27	11	119	10	128	8	114	11	171	10	59
23	愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118	26	132	22	114	27	162	22	85	20	57	20	61
24	三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33	10	48	11	37	6	51	8	23	6	47	5	28
25	滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600	87	547	83	514	81	501	74	494	45	438	76	529
26	京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60	11	54	11	80	9	59	9	67	13	49	15	56
27	大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213	24	188	28	202	31	168	26	158	15	71	28	126
28	兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136	33	136	30	136	33	136	31	171	31	133	34	125
29	奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31	10	22	11	24	12	35	10	24	7	15	10	30
30	和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19	5	14	3	34	3	43	4	15	5	41	4	29
31	鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21	2	3	2	6	3	32	2	31	2	17	2	32
32	島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81	3	31	4	31	4	89	3	35	3	41	1	21
33	岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275	10	249	14	292	12	307	12	323	12	320	8	311
34	広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79	9	62	10	83	8	51	9	62	9	53	9	65
35	山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18	4	17	8	23	8	21	8	47	5	38	8	26
36	徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140	23	85	22	103	17	80	15	70	14	61	13	74
37	香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12	2	10	3	10	3	35	3	37	3	19	3	19
38	愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155	5	145	7	132	8	124	9	138	7	107	5	111
39	高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53	14	84	12	51	11	69	11	49	14	71	15	73
40	福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84	22	76	19	70	22	92	25	77	26	145	29	108
41	佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19	5	20	8	27	5	24	5	39	4	44	5	35
42	長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34	4	12	6	187	4	228	4	329	4	44	3	25
43	熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39	5	35	5	18	6	77	4	15	3	38	4	39
44	大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4	40	2	11	2	11	4	58	2	11	4	83	3	72
45	宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47	4	55	5	44	5	43	5	71	3	81	2	48	2	56
46	鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13	2	11	3	12	3	5	3	31	3	152	7	74	4	22
47	沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34	8	43	10	47	8	42	9	51	11	194	7	70	7	87
合計		547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	959	5,581	882	5,397	836	5,544	818	5,842	785	5,270	816	6,124	796	6,920	745	6,241	650	5,924	705	5,433
実団体数		531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		926		865		792		771		750		758		730		697		586		646	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。　実団体数の数値が真値。

※2020年、2021年は新型コロナウイルス感染予防対策として、実施期間を延長しています。

●参加者記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,389	6,040	4,834	9,561	7,061	6,944	6,797	6,565	4,041	5,184
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,719	1,545	1,186	2,026	1,927	1,690	1,725	1,868	601	931
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	704	851	707	1,133	771	667	690	487	329	264
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,503	3,568	2,838	6,305	4,245	4,498	4,295	4,165	3,152	3,881

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているとおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。　参加者累計　122,341名

●一斉調査日実施状況

実　施　年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
団　体　数	360	600	587	547	508	569	510	499	518	468	334	428	345	411	388	367	265	293
地　点　数	1,875	3,288	3,044	3,158	3,483	3,072	2,755	2,755	2,598	2,648	1,664	2,749	1,951	2,418	2,615	2,448	1,347	1,569

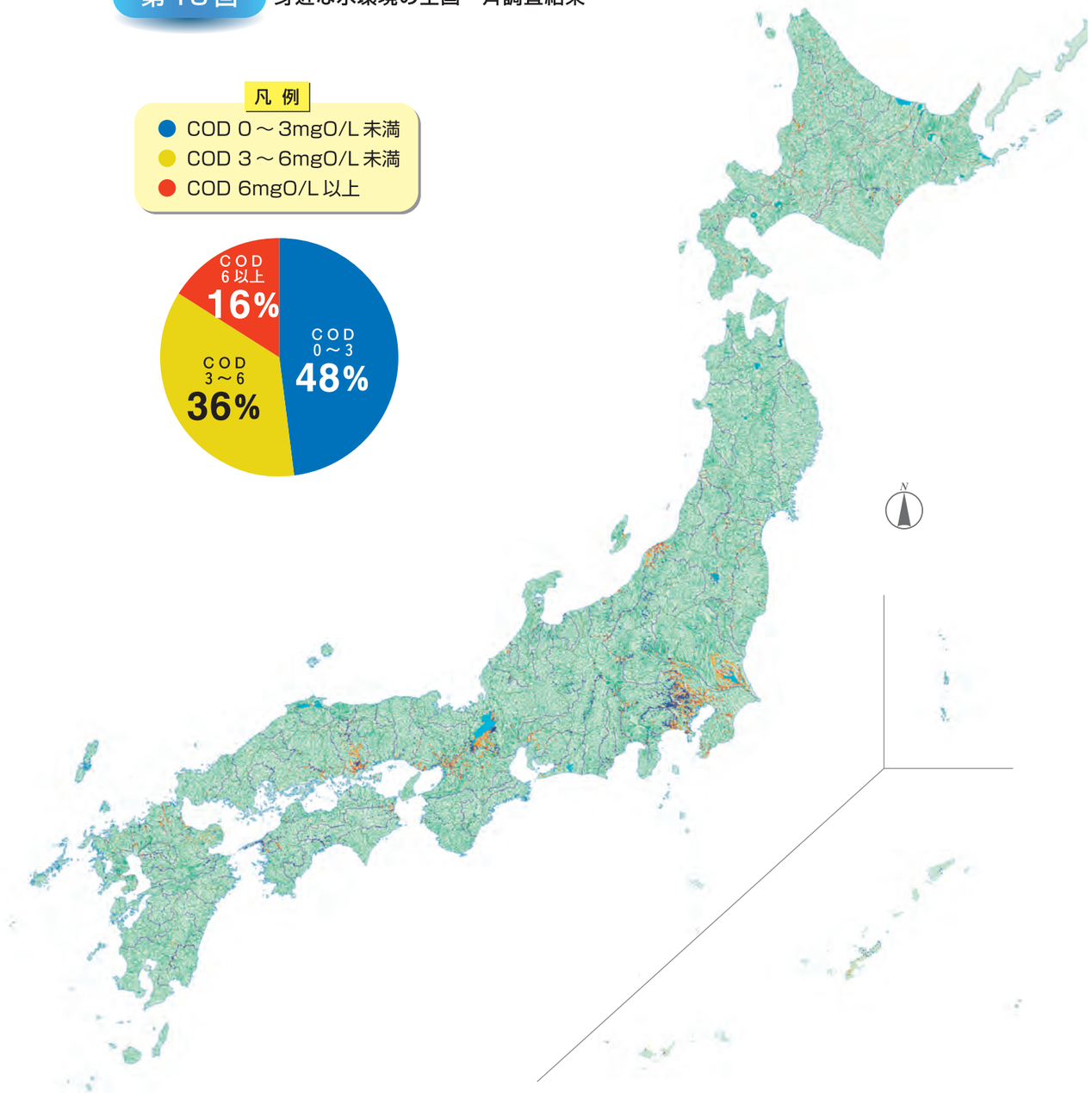
●海外データ

国　名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
中　国	8	5	63	ー	3	ー	2	1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
韓　国	4	1					3	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	6	ー	ー	10	39	ー	ー
チェコ共和国				1					ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
イギリス									ー	ー	ー	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
インドネシア																		2	ー	ー	ー	ー

2021全国水環境マップ

第18回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡 例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上



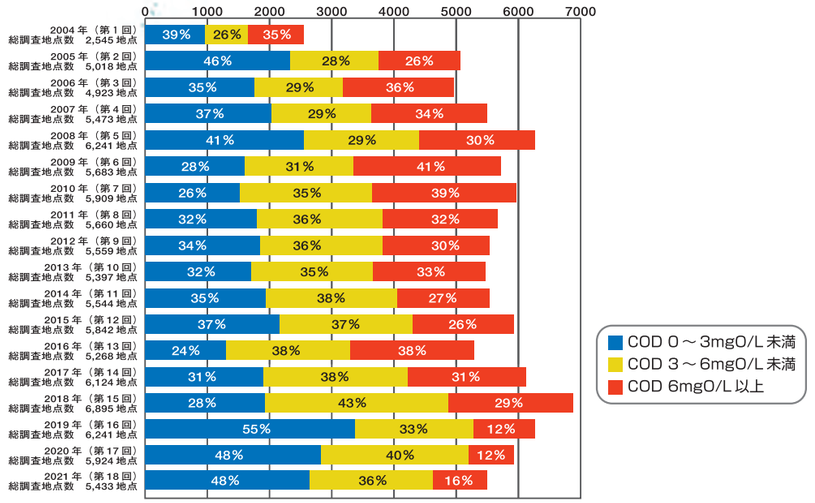
2004全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡 例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上



調査地点数と結果の推移



Ⅳ 各ブロックでの調査結果

北海道地方



参加者からのコメント

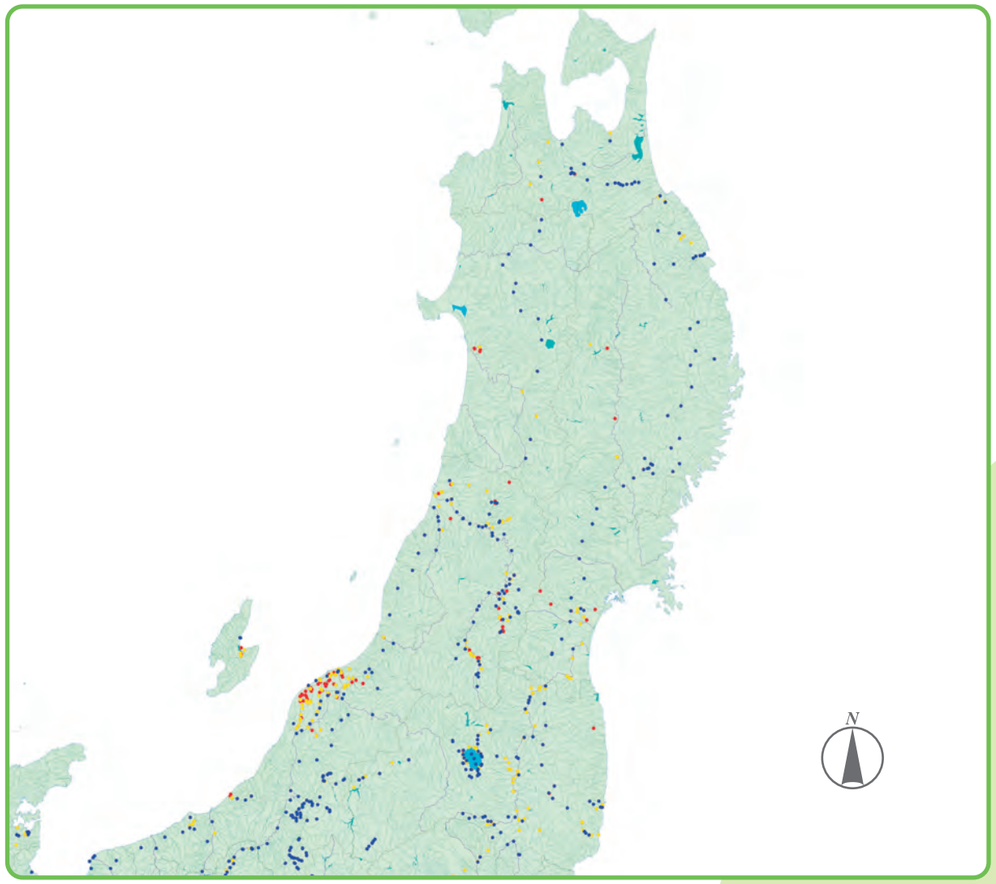
- 水はやや濁っている。採水地点は橋の真下であるため、河床・河岸は連節ブロックである。橋の上流側は河畔林がうっそうとしているが、下流側左岸は開けている。
- 昔（30～40年前）よりかなり奇麗になっている。
- 両岸が自然石護岸で植生が旺盛に繁茂する。ゴミなし。6/4の降雨（日降雨量46 ）の影響により河川水がやや濁る。上流遊水地からの濁水流入と思われる。合流河川の漁川は、茶褐色に濁る。





東北地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

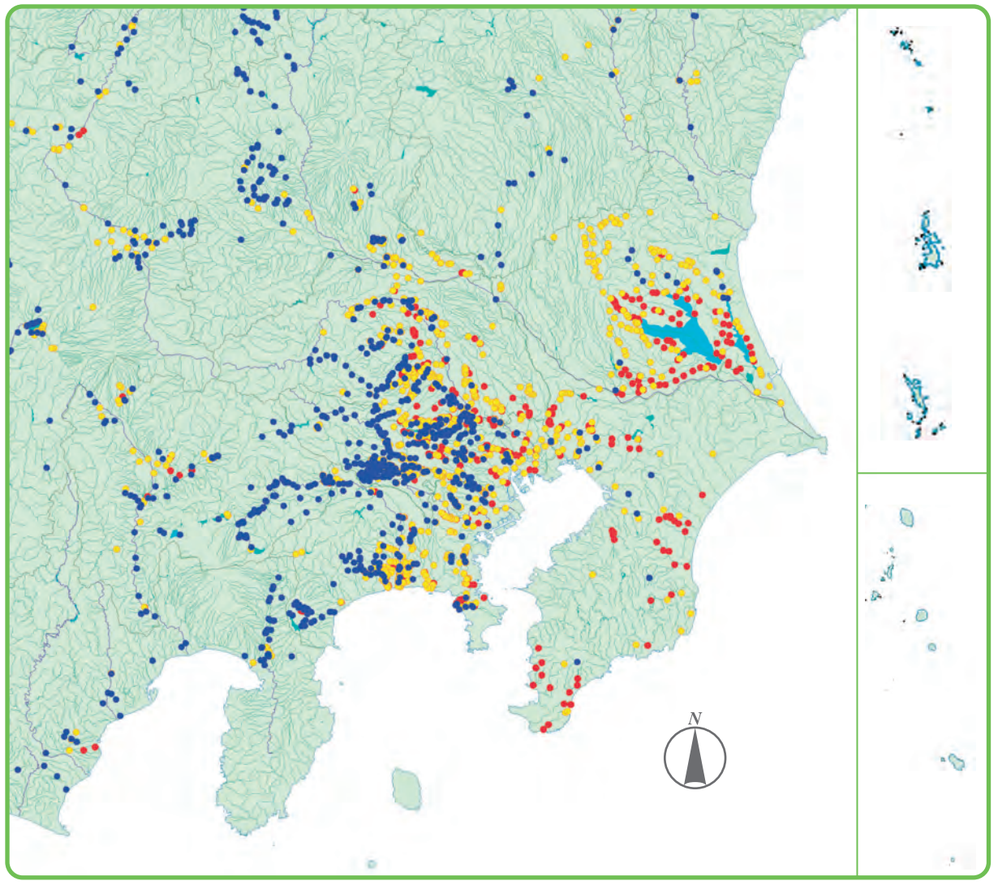
- 昨年まで調査地点が河川工事のため川幅が広くなり、水量が分散。採水できず少し上流で実施。水量、流れあり。透明度も良。ごみの散乱もなかった。
- 小雨が降り、気温低下後に採水。小魚が泳ぎ、水鳥も見られた。ごみが少なかった。（前年比）
- 上流の水源となる山林の伐採が進んでいる。
- 土手は草が刈ってあった。昨年より水の中の流れがきれい。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

関東地方



参加者からのコメント

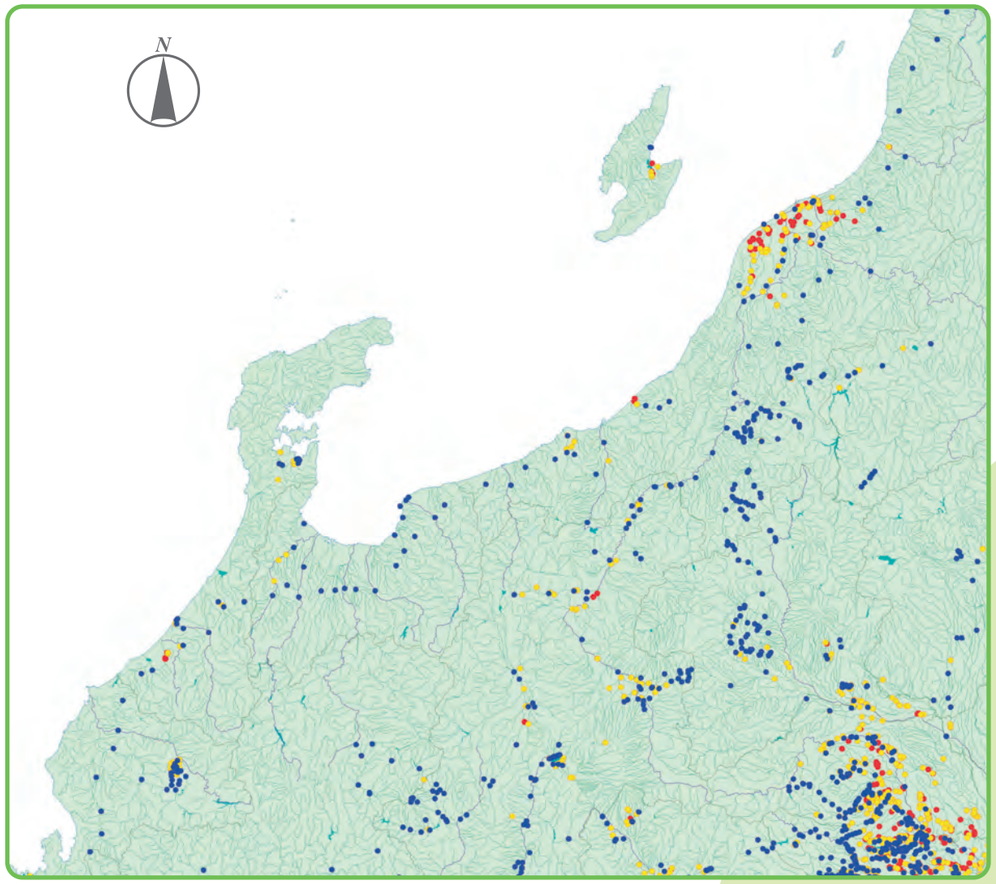
- 昨日の雨のため濁りあり。川周辺はきれいになっており、ごみもなかった。
- フェンスに灌木と草が覆い被さり中はよく見えないが、水は濁って見える。枠がありフェンスに近寄れない。三面コンクリート。かつてはどぶ川で臭いがすごかったが、養豚場がなくなりきれいになった。
- 調査を実施しようと思っていましたが、ちょうど午前中用水路にびっしり油膜が流れ、中止しました。原因は不明。実施後、町環境課へサンプルとともに説明に行きました。
- コンビニの脇の川なのでゴミが多い。空き缶、ペットボトル多し。下里氷川神社から都橋まで、河川整備が終わり、コンクリーのきれいな川に？なっている（味気ない感じ）





北陸地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

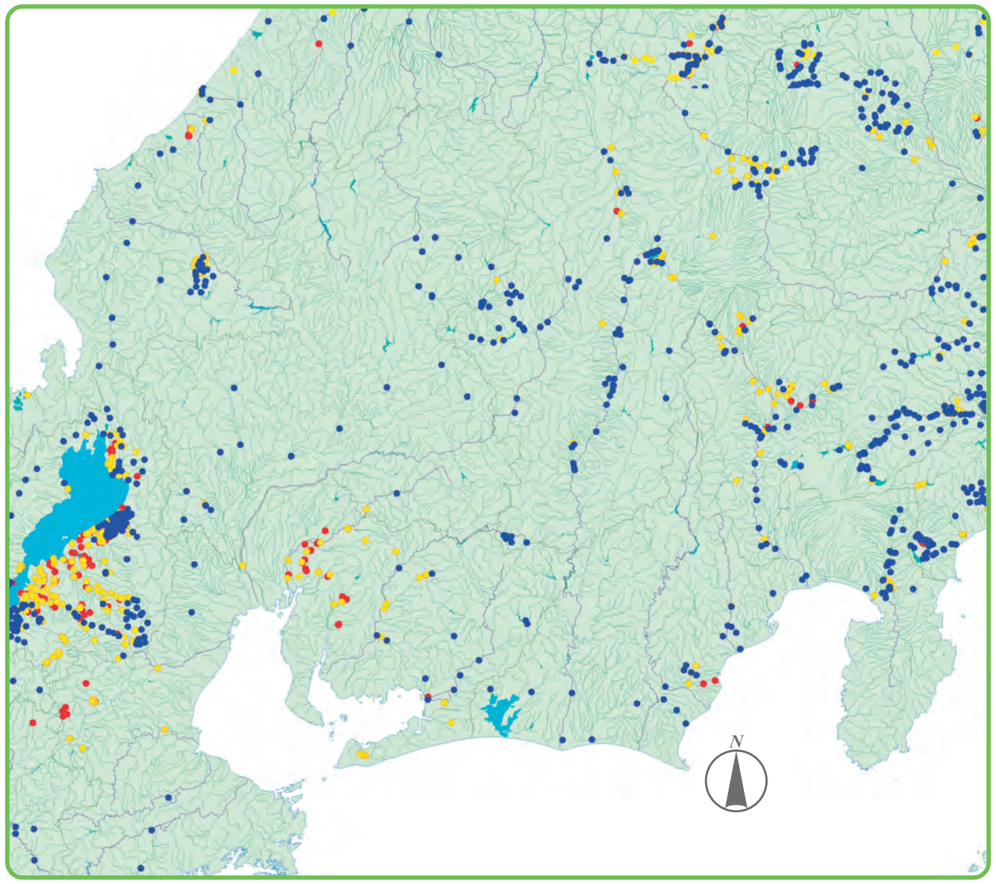
- 川の水量は例年並み。川の水は雨水茶色だが濁ってはいない。浮遊するごみはない。
- 3年ぶりに来たが、船着き場が無くなり採水が難しかった。
- 昨年外来種スイレンを大量に抜いたが、今年もまたも大量繁殖。
- 今年は地元の専門学校生 4 名の参加協力がありました。気温は２０度台でしたが、日差しはもう夏の強さを感じました。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中部地方



参加者からのコメント

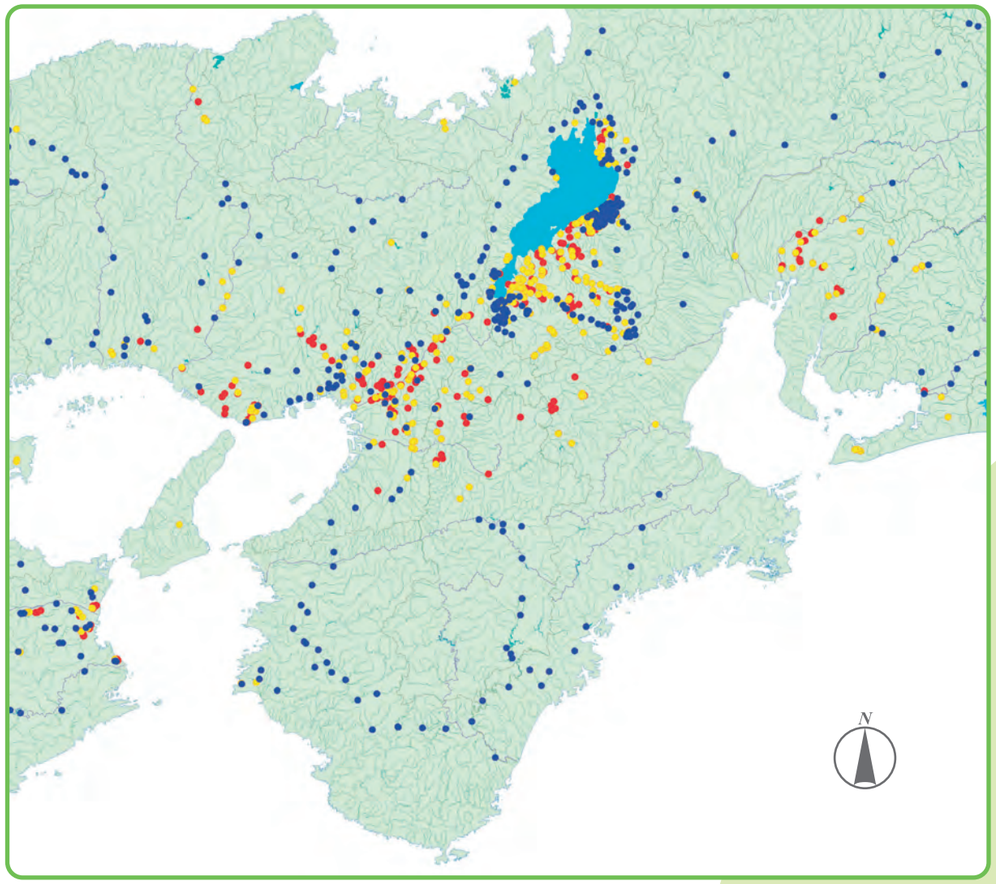
- 川と湧水の混合水、ごみ多し。三面コンクリートが多いが、調査地点上流にホタルが生息する川です。
- 水量は少なく、水流は緩やか。雑魚が群がっている。時々銀色に光る。犬と人が砂利洲にいて、時々犬が川の中に入って楽しそう。土手の草刈を二人でやっていた。
- 新型コロナ感染拡大防止のため駐車場が閉鎖されていて、水上バイクが今年はなかったので岸部の濁り等無く、透明度が上がっていた。





近畿地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

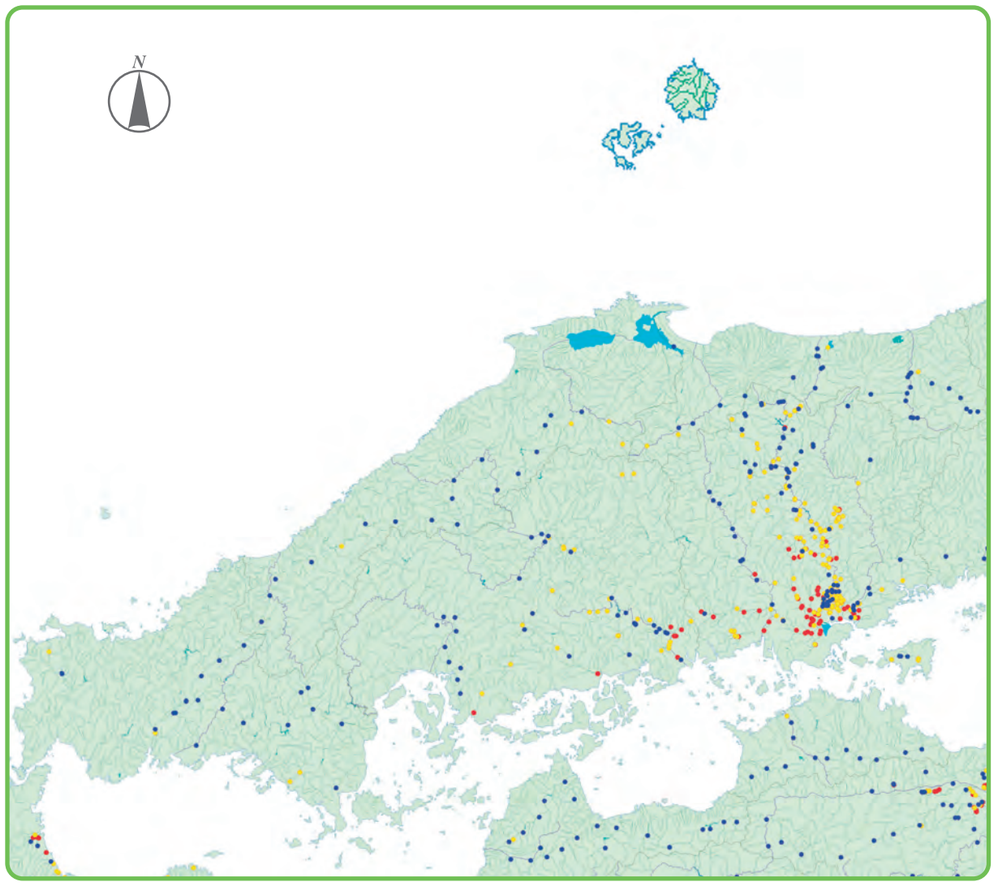
- 子どもたちは水質調査に参加することによってホタルのすむ水環境を強く意識するようになりました。夏休み中に生き物調査をする予定ですが、指標生物と水質との関係をより意識するのではないでしょうか。結果は小学校の職員室前に展示いたします。
- 清流。採水は川岸の岩場から。底は大小の円礫。両岸は橋付近を除き自然のまま。ごみは岸辺に引っかかる。
- 水量は去年より少し多いと思う。流れはあったが、水にやや色が付いていた。川面には泡のようなものが多く浮かんでいた。川の中の茂みにはプラスチックごみが引っかかっていた。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中国地方



参加者からのコメント

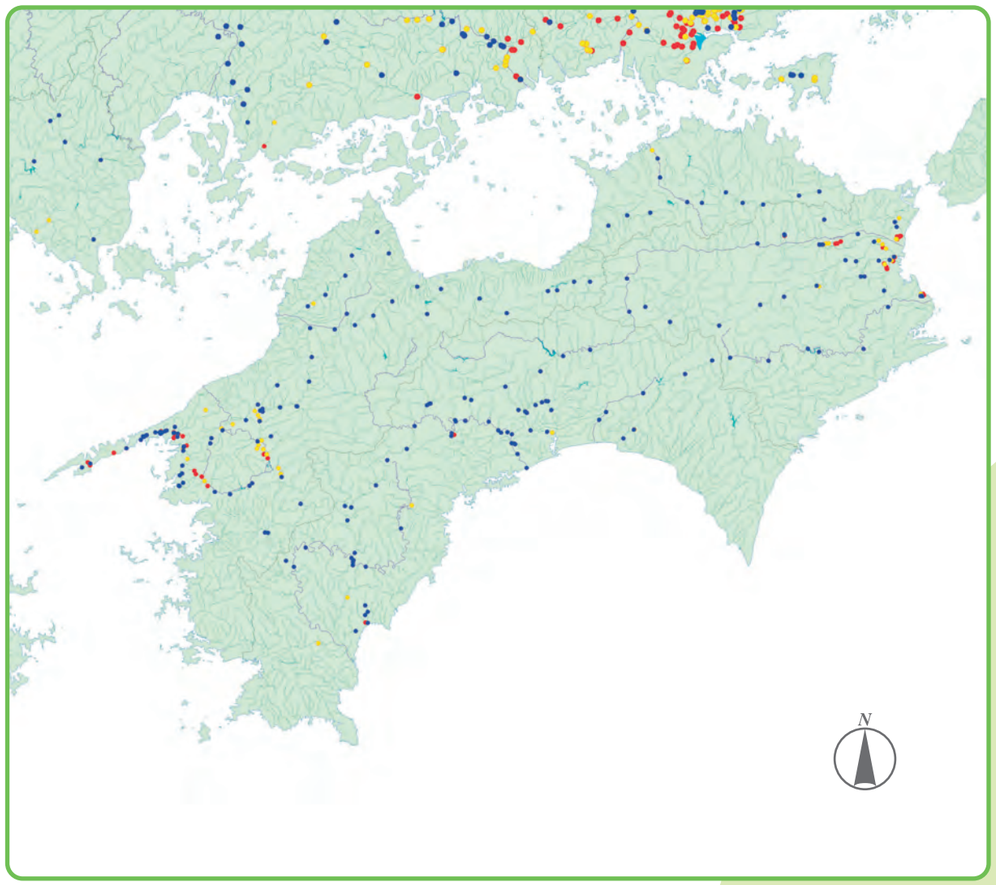
- 風は弱く、湖面は凪いでいた。透視度は100cm以上と湖水は澄み、湖岸の湖底には海藻類が繁茂していた。
- 通りかかった80代男性が、「水質調査かの？」と声をかけられ、「わしらの小さい頃は泳いだりアユもようけ獲れた。そんな川に戻ってほしい。」とおっしゃってました。
- 例年、岸辺にあった藻やごみが、今回は減少していた。又、水の濁りが昨年より少なくなったように感じられた。水質改善。





四国地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

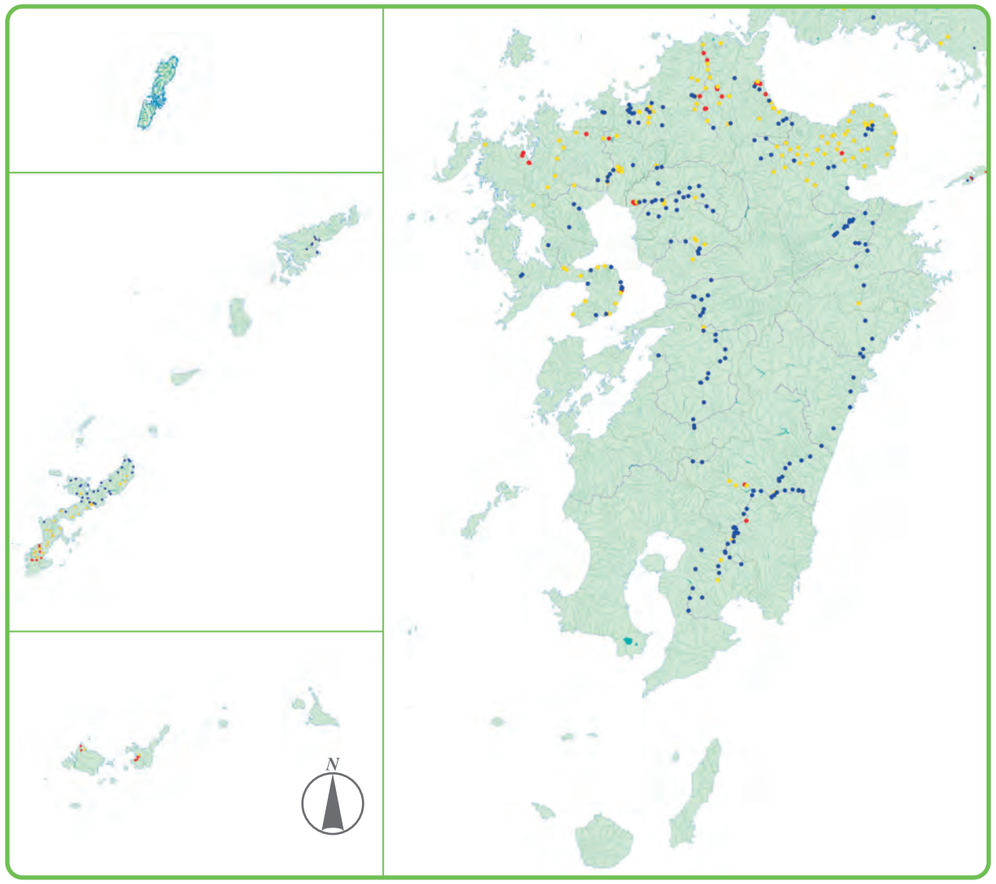
- コロナの影響で自治会による草刈を2年間中止したため、川原の草木が大きくなり、重機により根こそぎの川原清掃を行ったとのこと。
- 一昨年の工事で埋められていた川が復元されが、川床にはコンクリート製の床が用いられ、その上に自然石が並べられているが、カワニナやカワムツなど貝類や魚は見当たらず、水棲生物の復元はない。
- 今年は、半世紀ぶりにホタルが見られたとの情報あり。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方



参加者からのコメント

- 昔は人が好んで泳いでいたが水質が悪化して水中には近づきにくい。
- 田植えの時期で田んぼの濁り水が入っているが、一昨日の雨で水量が増加し、水質は良かった。
- 外来植物繁茂等に起因する川岸の堆積物による滞留は特定の場所で継続。昨年度からの傾向で、極端に悪い数値となる地点がなく、良好な結果である。ただし、堆積物によって見た目が悪いのはマイナス。堆積物の量からは清掃ボランティアで解決できる量を超えている。
- 子供たちが水遊び・釣りをしていた。





Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例 ～子どもたちの環境活動プログラムとしての活用～

こどもエコクラブ全国事務局
連絡先：東京都千代田区岩本町１丁目10-5　TMM ビル 5F
(公財) 日本環境協会　こどもエコクラブ全国事務局
TEL：03-5829-6359　FAX：03-5829-6190
Email：j-ecoclub@jeas.or.jp



【こどもエコクラブくしろ（北海道釧路市）】継続年数：15年
水を命とし、多くの生き物たちを育む釧路湿原。
私たちは、その釧路湿原の生き物を守り水環境を学ぶため、この調査に参加して特別保護地域へ直接流入する河川の水質や水辺環境の状況、水棲生物などを調べています。
湿原周辺では人間活動による開発が進んでいる昨今ですが、この調査をとおして生き物たちが棲み続けられる水豊かな釧路湿原を未来へ残すため、子どもたちと共に継続した活動を今後も推進したいと思います。



【木津川市こどもエコクラブ（京都府木津川市）】継続年数：16年
市中央部の里山（鹿背山）を流れる中切川は20年近く私たちが生き物観察を続けてきた小川で、サワガニやオニヤンマのヤゴなどが見つかる人気の場所です。
子どもたちに生き物の棲む環境に関心を持ってもらい、全国で同じ調査をする仲間があることを意識してもらいたいという思いから、一斉調査を続けてきました。
コロナ禍でここ２年は大人だけの調査となりましたが、来年こそは子どもたちとにぎやかに調査したいです。

こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、幼児（３歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

こどもエコクラブでは、子どもたちの興味関心に応じて自由に活動いただいていますが、その中でも「身近な水環境の全国一斉調査」はとても貴重な活動プログラムとなっており、毎年たくさんのクラブが参加、ご紹介した２つのクラブは10年以上も継続して参加しています。これからも水辺の一斉調査活動を通して、日本全国のたくさんの子どもたちが地域の水辺環境に関心を持ち、その改善に向けて自分たちに何ができるかを考えて欲しいと願います。

環境活動をしているみなさんへ

～こどもエコクラブ 「エコまる」からのお知らせ～

こどもエコクラブに登録して、みなさんの活動を全国に発信しませんか！
登録すると全国一斉活動等、ほかのクラブと連携した活動に参加して交流することもできます。登録料は無料！
希望するメンバーにはバッジをプレゼントしています！

こどもエコクラブ　検索



V 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

若いお母さん達が子どもたちと目指す「新たな共助」

越後新川まちおこしの会

連絡先：〒950-2001 新潟市西区浦山4-3-22
世話人　加藤 功　090-4701-3910
Mail：ecoline@mvd.biglobe.ne.jp


新川突堤で子どもたちの水質調査

私たち越後新川まちおこしの会が身近な水環境の全国一斉調査に参加したのは2007年の第4回で、会が発足した年でした。当会の歴史は水質調査と同じく、今年で15年となりました。

私たちの住む新潟は、日本一の長さを誇る大河・信濃川が流れています。だが、越後新川まちおこしの会が水質の調査をやっているのは、主に二級河川の新川水系で、広さは東京23区の約3割に当たる2万ヘクタール下流部の水質調査をやっています。


新潟市西区にある新川河口、背後に2万haの西蒲原が広がる
河口には240㎥/sを誇る新川河口排水機場が左岸出口にある

新川は中ノ口川と西川に挟まれたお盆の底にあるため、かっては3年に1度の長期間湛水する地域で、越後ではその湛水被害を「悪水」と呼び、水は一刻も早く海へ流す対象でした。

この土地の先人は、湿地帯の広がる西蒲原の悪水を海に流し、新田開発するため、約200年前の文政3年（1820）に、2年の歳月と165万人の労力、そして2万両を費やし、人工の河川「新川」を切り拓きました。工事は、高さ23mの金蔵坂砂丘を1日2000人もの人が掘り拓き、西川の底に底樋と言われる木製トンネルを埋め込み、川と川とを立体交差させました。その結果、コシヒカリを代表とするコメ生産地に発展しました。

新川開削が成し遂げられたのは男だけの力ではなく、女性の力も大きかったのです。女性の視点からの新川開削シンポジウムを2019年に行いました。そのパネリストに、内野小学校PTA副会長の綱本麻利子さんが参加してくれました。彼女らは子育ての忙しい中、「少し先の未来につながる笑顔」を合言葉に、Smile Storyを立ち上げました。そして彼女ら3名が当会に入会し一緒に活動しています。



新川開削の歴史


海岸清掃に集まった子ども達と
水質調査の勉強会

Smile Storyは、様々な活動を通じて「自然」と「食」を次世代に残すことを目指し、新しい生活様式で移動型の「モバイルこども食堂」を運営、子どもたちの未来にもつながる活動をやっています。

Facebook、InstagramなどのSNSを使いこなし、ママさん友達や釣り人、サーファーと一緒に正月元旦から海岸清掃を行い、月に数回子ども食堂を行っています。そして5月5日の海岸清掃の際に、子どもたちと水質調査のやり方を勉強して、6月に親子で調査を行いました。

今後の活躍が楽しみの若いママさん達です。

Smile Story

おねがい

次年度以降の調査キットの内容について

全国水環境マップ実行委員会

皆さんご承知の通り、現在本調査の器材としてパックテストを含むスポイト等の調査キット一式は、株式会社共立理化学研究所のご厚意で無償提供を受けています。その調査キットの内容品についても本調査を始める2004年当時には様々な検討がなされ、現在の構成となっています。

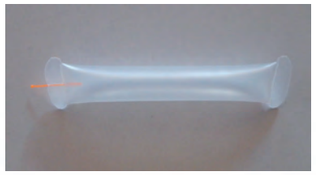
今年度から環境配慮の観点から調査に支障のない範囲で内容品の削減を行っていくことになりました。

現在はプラスチックごみやマイクロプラスチックが世界的に問題視され、自然界において分解しない存在として削減の方向に向かっています。また、継続的にご参加の皆さまからスポイトや専用カップ（愛称パックン）が毎回手元に残り、もったいない。といった声も聞こえてきます。このような状況を鑑み、練習用の空（から）パックなどを段階的に削除していこうといった動きとなりました。

今後は専用カップ、スポイトが対象ですが、その場合には事前にお知らせをいたします。

また、今後専用カップやスポイトなどが削減された場合においても、初回の参加者にはフルセットとし、「試水を一定量採水することで比色表での判定の際のデータのばらつきを減らすこと」によりデータの精度確保に努めます。継続してご参加いただく皆さまには消耗品以外は継続的に使用していただくようお願い申し上げます。

第19回より削減（予定）・・・・・・・・　練習用の空（から）パックなどを段階的に削除





Ⅵ 継続調査参加団体

皆勤賞

18年参加（結果提出）団体（合計74団体）個人参加1名を含む

北海道	NPO法人十勝多自然ネット	茨城県	美浦村	東京都	八王子ランドマーク研究会	山梨県	生活クラブ生活協同組合（山梨）
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	茨城県	阿見町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	一般社団法人 霞ヶ浦市民協会	茨城県	河内町	東京都	八王子市東南部環境市民会議	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	国土交通省　霞ヶ浦河川事務所	茨城県	桜川市	東京都	程久保川を考える会	愛知県	尾張西部生態系ネットワーク　T・海部野川
茨城県	石岡市	茨城県	利根町	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊穣の郷
茨城県	龍ヶ崎市	茨城県	土浦市	東京都	八王子西南地区環境市民会議	京都府	相楽環境委員会
茨城県	牛久市	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	（公社）東京都山岳連盟自然保護委員会	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	つくば市	東京都	東久留米ホタルを呼びもどす会	東京都	東京NPO−21研究所	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	羽村・水と緑の会	山口県	椹野川観察会
茨城県	潮来市	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	東京環境工科専門学校　増穂班	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会
茨城県	稲敷市	埼玉県	NPO法人　エコシティ志木	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課
茨城県	筑西市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	林・宮島ファミリーズ	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
茨城県	かすみがうら市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	国分寺みずっこクラブ&国分寺地下水の会	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
茨城県	茨城町	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	神奈川県	東京都市大学　小堀・成研究室	愛媛県	NPO法人かわうそ復活プロジェクト
茨城県	小美玉市	東京都	自由学園	新潟県	NPO法人新潟水辺の会	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
茨城県	笠間市	東京都	明法中学高等学校　科学部	山梨県	Yamanashiみずネット	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会
茨城県	鉾田市	埼玉県	東川を愛する会	山梨県	大泉・水と緑を守る会		
茨城県	神栖市	埼玉県	NPO法人　荒川流域ネットワーク	山梨県	風間・瀧澤グループ		
茨城県	行方市	東京都	浅川流域市民フォーラム	山梨県	メダカクラブ		

10年以上の参加団体（今年度参加をした上記以外の団体）270団体（内個人15名）

北海道	帯広稲田冒険遊びの会	埼玉県	荒谷の環境を考える連絡協議会	新潟県	檜川を守る会	愛知県	たかくら子どもエコクラブ
北海道	留萌川を楽しむ会	埼玉県	生活クラブ生協首都支部	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	愛知県	鯏城・堀川と生活を考える会
北海道	こどもエコクラブくしろ　JEC	埼玉県	東洋大学	新潟県	鵜後新川まちおこしの会	愛知県	みなと塾
北海道	幾春別川をよくする市民の会	埼玉県	与野・水と緑の会	新潟県	西川を創る会	愛知県	刈谷市民会議
北海道	利根別川をきれいにする市民の会	埼玉県	小畦の会	新潟県	自然環境見守り隊	滋賀県	NPO法人 蒲生野考現倶楽部
北海道	十勝川のシシャモを守る会	埼玉県	さやま環境市民ネットワーク	新潟県	エコクラブ　サンダーバード	滋賀県	NPO法人瀬田川リバプレ隊
北海道	北海道函館水産高等学校	埼玉県	白岡市観光協会水辺の里親会	新潟県	五十嵐川を愛する会	滋賀県	野洲川に親しむ会
青森県	NPO法人水辺の楽校べちⅱ	埼玉県	指野川水系in滑川町	富山県	小矢部川に学ぶ会	滋賀県	湖南流域環境保全協議会
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	千葉県	カヌークラブかわせみ	富山県	みずほ地域学芸員	滋賀県	草津塾
岩手県	学石町児童館　わーくてんばー	千葉県	自然観察やまぼうし　JEC	石川県	「美川自然人クラブ」	滋賀県	栗東市役所
岩手県	大深沢水園委員会	千葉県	河南環境美化の会	山梨県	若月ファミリー	滋賀県	NPO法人環境を考える会
宮城県	仙台リバーズネット梅田川	千葉県	ぬく森エコクラブ　JEC	山梨県	まちづくり時習塾	滋賀県	滋賀県南部環境事務所
宮城県	（公財）みやぎ・みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）水部会	千葉県	二重川に親しむ会	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	滋賀県	NPO法人琵琶湖ネット草津
秋田県	イオン東北（株）チアーズクラブ	東京都	多摩市水辺の楽校	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会
山形県	NPO法人パートナーシップオフィス	東京都	日野市環境共生部　緑と清流課	山梨県	富士川ファンクラブ・六郷地区	滋賀県	鹿深の里　甲賀流域環境保全協議会
福島県	夢はたる・こおり	東京都	浅川昆虫水辺の楽校	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	滋賀県	野洲川を愛する会
福島県	西郷くらしの会	東京都	八王子市西部地区環境市民会議	山梨県	松田(恒)グループ	滋賀県	茶釜川を美しくする会
福島県	白河くらしの会	東京都	八王子東部地区環境市民会議	山梨県	みずまし	滋賀県	淡海のだかの学校
福島県	星井川流域の会	東京都	NPO法人環境活動センター八王子	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂地区	滋賀県	信楽の川自然愛護の会
茨城県	みどりの会	東京都	せたがや野川の会	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	甲南高校　バイオとかがく系列
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	東京都	玉川上水ネット	山梨県	八ヶ岳野鳥クラブ	滋賀県	滋賀県企業庁水口浄水場
群馬県	城沼を考える市民会議	東京都	公益社団法人　全国上下水道コンサルタント協会	山梨県	計画課チーム	滋賀県	東近江環境保全ネットワーク
群馬県	NPO法人新田環境ならいの会	東京都	福生水辺の楽校運営協議会	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	八幡堀を守る会
東京都	北川かっぱの会	東京都	神田川ネットワーク	山梨県	富士川ファンクラブ・三珠地区	滋賀県	東近江水環境自治協議会
埼玉県	白子川流域の水環境をよくする会	東京都	いたばし野鳥クラブ	山梨県	山田ファミリー	滋賀県	環境フォーラム湖東
東京都	里久留米はとけどじょうを守る会	東京都	尾久の原堂好会	山梨県	イデッチ	滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡会議
埼玉県	不老川流域川づくり市民の会	東京都	北区水辺の会	山梨県	富士川下流出張所	滋賀県	人と自然を守る会
埼玉県	かわごえ環境ネット 新河岸川水系グループ	東京都	NPO法人センスオブアース	山梨県	大月小松ファミリー	滋賀県	大津市河川愛護団体連合
埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	川口市立西中学校科学技術部	山梨県	富士川ファンクラブ・早川地区	滋賀県	篠所南部の川を美しくする会
東京都	NPO法人　空堀川に清流を取り戻す会	東京都	江東自転車エコライフの会	山梨県	国土交通省甲府河川国道事務所調査課チーム	滋賀県	天神川を美しくする会
埼玉県	砂川流域ネットワーク	東京都	狛江市環境を考える会	山梨県	国土交通省甲府河川国道事務所富士川中流出張所	滋賀県	三田川をきれいにする会
埼玉県	柳瀬川をきれいにする会	東京都	美登会	山梨県	佐野オトリ店グループ	滋賀県	多羅川を愛する会
東京都	空堀川を考える会	東京都	楽しい多摩川フォーラム	山梨県	豊富　ホタルの里づくりの会	滋賀県	盛越川上流を美しくする会
東京都	北多摩自然環境連絡会	東京都	法政大学大文地理学研究室	山梨県	甲陵高校	滋賀県	相模川を美しくする会
埼玉県	黒目川に親しむ会	東京都	NPO法人境川緑のルネッサンス	山梨県	みずねっと・おもがわ（日川高校OBOG会）	滋賀県	びわ水環境
埼玉県	所沢市立東中学校おやじの会	東京都	バックテスト共の会	長野県	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	滋賀県	長浜市水生生物少年少女調査隊
埼玉県	あさか環境市民会議	神奈川県	柱川・相模川流域協議会	長野県	千曲川水生昆虫研究会	滋賀県	長浜市立北郷里小学校
埼玉県	NPO法人　和光・緑と清き水の会	神奈川県	CCたかつ	長野県	戸隠地質化石博物館	滋賀県	長浜北小学校　川探検クラブ
東京都	川クラブ	神奈川県	国土交通省　関東地方整備局　京浜河川事務所	長野県	飯水自然調査研究委員会	滋賀県	長浜市長浜南小学校
埼玉県	三貫津水の会	神奈川県	まいおか水と緑の会	長野県	軽井沢水楽会	滋賀県	長浜市びわ北小学校
埼玉県	鴻巣の環境を考える会	神奈川県	NPO環境ファミリー葉山	長野県	湯川　水の会	滋賀県	長浜市びわ南小学校
東京都	霞川くらしの楽校	神奈川県	NPO法人　藤沢グリーンスタッフの会	長野県	エコラボ クラブ	滋賀県	長浜市立田根小学校
埼玉県	川の博物館ボランティアの会	神奈川県	大岡川流域まちかど衆	長野県	長野市水環境研究サークル	滋賀県	長浜市立伊香具小学校
埼玉県	もりんど	神奈川県	若葉台連合自治会　生活環境部	長野県	グリーンヒル友の会	滋賀県	会長小中学校
埼玉県	さいたま市リバーキーパーズ	神奈川県	辻堂ゴミゼロクラブ	長野県	NPO法人　みどりの市民	滋賀県	長浜市立塩津小学校
埼玉県	高麗川ふるさとの会	神奈川県	ファミリー原さんち	長野県	天竜川総合学習館かちんべ	京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC
埼玉県	生活クラブ生協日高支部	神奈川県	笠下川再生プロジェクト	岐阜県	NPO法人飛騨小坂200滝	大阪府	アクアフレンズ
埼玉県	かわごえ環境ネット	新潟県	NPO法人わっとわーく福島潟	静岡県	磐田市電洋テニスポーツ少年団(静岡県)	大阪府	CFK'お魚の会
埼玉県	宵てる会	新潟県	新潟市民大学講座	愛知県	NPO法人　環境研究所豊明	大阪府	NPO法人大阪府環境協会
埼玉県	市ノ川エコクラブ	新潟県	特定非営利活動法人加治川ネット21	愛知県	あしよくら少	大阪府	清水1実町会
埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	新潟県	福上水辺の会	愛知県	天白・川辺の楽校	大阪府	アイラブ城北川実行委員会

Ⅶ 全国水環境マップ 実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏　名	役　割	団　体　名	都道府県	TEL	E-mail
小倉　紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村　直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子　博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤　篤	実行委員	一般社団法人霞ケ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	pcom@sea.plala.or.jp
渡邉　勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
小倉　明	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	99magari@googlegroups.com
小寺　浩二	実行委員	NPO 法人地域環境科学研究会	東京都	090-7253-7380	Kodera6106@gmail.com
諏訪　祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	hamukurosachiko@gmail.com
藤森　夏幸	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沼田　清	実行委員	信州水環境マップ・ネットワーク	長野県	0267-32-8608	ecolabo@f4.dion.ne.jp
金﨑いよ子	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
井阪　尚司	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-2012-2386	isaka178 @ icloud.com
菱田　敏一	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原　和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野　宣宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-1172-6994	shono@niyodoriver.com
鈴木　祥広	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野　朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1341-1847	ryukyuayuono@gmail.com

※委員は、2021年10月12日現在

事務局

氏　名
菅谷　輝美
高橋　克彦
本間　君枝
佐山　公一

オブザーバー

小堀　洋美
戚　泳植
信田　智
大角　一浩
寺石　杏映
西　修
松澤　秀典
森　美穂子
吉野　英夫
田畑　和寛
岡内　完治
岡内俊太郎
上田　実
樋口　柚里

「パナソニック エコリレー ジャパン」は、

国内のパナソニックグループに集う会社、組合、退職者が「One Panasonic」として、地域社会と共に環境保全活動に積極的に参画し、持続可能な社会づくりに貢献しています。活動では、「森林」「緑地」「水」を中心とした生物多様性保全、里山保全につながる活動、自然教育活動などの地球環境保全活動全般を行い、従業員とその家族に温暖化防止やライフスタイルを見直す意識啓発に取り組んでいます。

特に「水を守る」活動としては、「身近な水環境の全国一斉調査」をはじめ、「河川・海岸清掃」や「ヨシ刈り」「外来種水生植物駆除」など、関係団体と連携し、積極的に取り組んでいます。







パナソニック エコリレー ジャパン　事務局　Email : ecorelay-j@gg.jp.panasonic.com
URL : https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/environment/perj.html

Ⅷ 身近な水環境を調べよう！

第19回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2022年6月5日(日)を統一調査日として、第19回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

小倉　紀雄　全国水環境マップ実行委員会　実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年６月５日の「環境の日（世界環境デー）」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL　http://www.japan-mizumap.org/）や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ（http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html）で公表されています。

実　施　日	2022年6月5日（日）
測 定 項 目	気温、水温、ＣＯＤ、その他
測 定 方 法	調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）
参加申込と締め切り	専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みずとみどり研究会）に、**2022年3月10日（木）**までにご送付下さい。 なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。 参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1　調査キットは、参加申込者に2022年5月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会　事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28　飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169　E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp



全国一斉調査　お申し込み先

FAX：042-327-3169　E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第19回　身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ（http://www.japan-mizumap.org/）からもダウンロードできます。 身近な水 検索

2022年3月10日（木）までに必ずE-mailまたはＦＡＸでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり　　☐ 初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者　（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

■ 連絡先（グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など）住所、電話、FAX、E-mail（特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可）

住　所：〒　　-

電　話　　－　　－　　FAX　　－　　－

E-mail

■ 調査予定地点名　河川名など　例）○○県　○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

☐ はい　　☐ いいえ

■ 調査予定日　ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月5日に実施する　　☐ 6月5日に実施できない【その場合の予定　　月　　日】

■ 調査予定地点数　**水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。**

地　点（水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください）

■参加申し込みの確認はホームページ(http://www.japan-mizumap.org/)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。